



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月1日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名  
コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 浩也  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員企画管理本部長（氏名） 丹羽 利行（TEL）052-819-5310  
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年10月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	8,907	△34.6	1,067	△38.7	1,075	△38.6	596	△45.4
2024年2月期中間期	13,632	85.2	1,741	281.2	1,754	275.6	1,092	429.4

（注）包括利益 2025年2月期中間期 808百万円（△28.8%） 2024年2月期中間期 1,135百万円（264.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	35.53	—
2024年2月期中間期	65.03	—

（注）前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	26,991	18,337	62.9
2024年2月期	27,351	17,674	59.9

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 16,979百万円 2024年2月期 16,402百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2025年2月期	—	7.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	17,754	△26.4	2,244	△19.6	2,251	△20.1	1,272	△28.6	75.71	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	16,827,120株	2024年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	40,561株	2024年2月期	35,781株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	16,786,568株	2024年2月期中間期	16,807,385株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	6
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当中間連結会計期間(2024年3月1日～2024年8月31日)における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善し緩やかに回復しているものの、物価高騰による影響に加え、長期化するウクライナ問題や中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりもあり、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する建設業界におきましては、防災・国土強靱化等を背景に政府建設投資が底堅く維持し、民間建設投資においても一部回復傾向が見られたものの、建設資材の価格高騰や労務費の上昇及び労働人口減少に伴う労働需給逼迫などを注視する必要がある状況が継続しております。

このような経済状況下において、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業については、引き続き高付加価値案件の受注拡大に向け、コンサル営業を積極的に展開した一方で、前年に受注した大規模土壌処理案件が収束した影響で前年同期比では減益となりました。また、資源リサイクル事業については、廃石膏ボード入荷量が安定して好調を維持し、古紙・一般廃棄物処理事業も堅調に推移いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高8,907百万円(前年同期比34.6%減)、営業利益1,067百万円(同38.7%減)、経常利益1,075百万円(同38.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益596百万円(同45.4%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### (土壌汚染調査・処理事業)

前年業績を牽引した大規模工場中埋設廃棄物・汚染土壌撤去工事事業が収束したことに合わせ、関西エリアの高付加価値案件である大規模工場廃棄物撤去コンサル案件が端境期となりました。その結果、売上高6,150百万円(前年同期比46.7%減)、営業利益893百万円(同51.1%減)となりました。

#### (資源リサイクル事業)

PCB(ポリ塩化ビフェニル)事業及びBDF(バイオディーゼル燃料)事業は、取扱量は増加し利益は持ち直しております。また、株式会社グリーンアローズ中部及び株式会社グリーンアローズ九州の廃石膏ボード入荷量は堅調に推移し、前中間連結会計期間より連結子会社となった株式会社杉本商事及びその子会社の古紙・一般廃棄物処理事業の業績が反映されたことに合わせ、猛暑の影響に伴う廃ペットボトルのリサイクル処理が計画を上回ったことにより、売上高2,877百万円(同31.3%増)、営業利益570百万円(同26.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は26,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円減少いたしました。これは主に新規事業用に取得した土地が増加したことと、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債は8,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,023百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことと、支払手形及び買掛金、短期借入金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は18,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ663百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月4日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,448	2,013
受取手形、売掛金及び契約資産	4,509	2,680
棚卸資産	488	366
その他	490	191
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	7,930	5,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,164	6,029
土地	8,175	10,641
建設仮勘定	227	194
その他(純額)	1,813	1,897
有形固定資産合計	16,380	18,764
無形固定資産		
のれん	795	765
顧客関連資産	886	853
その他	121	108
無形固定資産合計	1,803	1,727
投資その他の資産		
その他	1,238	1,252
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,237	1,251
固定資産合計	19,421	21,743
資産合計	27,351	26,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,507	1,030
短期借入金	1,500	100
1年内返済予定の長期借入金	832	1,091
1年内償還予定の社債	8	8
リース債務	93	89
未払金	367	262
未払法人税等	900	306
賞与引当金	160	166
その他	367	281
流動負債合計	5,737	3,336
固定負債		
社債	12	8
長期借入金	3,143	4,501
リース債務	255	294
役員退職慰労引当金	15	15
退職給付に係る負債	190	188
その他	323	310
固定負債合計	3,939	5,317
負債合計	9,677	8,653

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,088	2,089
利益剰余金	11,873	12,352
自己株式	△35	△40
株主資本合計	16,215	16,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192	292
退職給付に係る調整累計額	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	187	290
非支配株主持分	1,271	1,358
純資産合計	17,674	18,337
負債純資産合計	27,351	26,991

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	13,632	8,907
売上原価	10,665	6,756
売上総利益	2,966	2,150
販売費及び一般管理費	1,225	1,083
営業利益	1,741	1,067
営業外収益		
受取配当金	11	10
不動産賃貸料	5	11
受取保険金	7	0
その他	3	6
営業外収益合計	28	28
営業外費用		
支払利息	10	16
支払手数料	4	-
その他	0	3
営業外費用合計	15	20
経常利益	1,754	1,075
特別利益		
固定資産売却益	14	6
補助金収入	-	19
受取賠償金	67	-
その他	0	-
特別利益合計	81	26
特別損失		
固定資産除却損	3	9
固定資産圧縮損	-	19
減損損失	4	-
特別損失合計	7	28
税金等調整前中間純利益	1,828	1,073
法人税、住民税及び事業税	673	285
法人税等調整額	△50	81
法人税等合計	623	367
中間純利益	1,205	705
非支配株主に帰属する中間純利益	112	109
親会社株主に帰属する中間純利益	1,092	596

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	1,205	705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	100
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	△69	102
中間包括利益	1,135	808
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,023	699
非支配株主に係る中間包括利益	112	109



## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	5,958	1,143	7,102	—	7,102
関東	3,794	53	3,848	—	3,848
関西	1,800	491	2,291	—	2,291
九州	—	390	390	—	390
顧客との契約から 生じる収益	11,554	2,078	13,632	—	13,632
外部顧客への売上高	11,554	2,078	13,632	—	13,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	111	113	△113	—
計	11,556	2,189	13,746	△113	13,632
セグメント利益	1,828	452	2,281	△539	1,741

(注) 1. セグメント利益の調整額△539百万円は、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で  
 あります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間に  
 係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	1,618	1,334	2,952	—	2,952
関東	2,948	1	2,950	—	2,950
関西	1,566	1,079	2,646	—	2,646
九州	—	358	358	—	358
顧客との契約から 生じる収益	6,133	2,773	8,907	—	8,907
外部顧客への売上高	6,133	2,773	8,907	—	8,907
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	103	119	△119	—
計	6,150	2,877	9,027	△119	8,907
セグメント利益	893	570	1,463	△395	1,067

(注) 1.セグメント利益の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△421百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で  
 あります。

2.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。